

生命の水 をまもる



残留塩素は安全のあかし

久代浄水場では、水道水を塩素で消毒しています。皆さんのお家に送った水道水の中には微量の塩素が残っており、これを「残留塩素」といいます。この「残留塩素」が水中にある病原微生物を殺菌しますので、安心して飲むことができます。「水道法」では、水道水は蛇口から出る時点で、1ℓあたり0.1mg以上の残留塩素を保持することが定められています。

水道モニターさんが毎日測定

市内の配水地域にお住まいの方から24人の水道モニターを募集し、各配水池からお家に送られた水の残留塩素の濃度（塩素がどれくらい残っているか）やにおい、にごりのチェックを毎日お願いしています。



配水池を24時間監視しています

皆さんの家に送られる前の水道水を貯めておく配水池が市内に21カ所あります。久代浄水場の中央監視室では、市内の配水池に貯める水量と、配水池から皆さんの家庭に送られる水量を、24時間体制で監視しています。

